opusdei.org

## 28. マグダラのマリア はどのような人です か?

東方教会においては「亜使徒」(使徒と同等の働きをした者)と呼ばれ、西方教会では「使徒たちへの使徒」と呼ばれています。

## 2014/10/22

福音書から得られる資料は簡単なものです。ルカ8,2が伝えるところによると、イエスにつき従い自分たちの持ち物を出して奉仕した婦人たちの

中にマグダラのマリアがいました。 彼女の名はマリアと呼ばれ、ギリシャ語でタリケアと呼ばれるのの出身でした。このでした。 ラという町の出身でした。り、だって、カリアの北5.5kmにあり、たっちでしたがした。 ライベリアの北5.5kmにあり、たったいはでしたが、マルコ16,9) ましたいは「全ての悪霊」追いたました。これは「全ての悪霊」追いは悪霊すいたとも解釈できます。 が、また肉体的か精神的な病かっていたとも解釈できます。

共観福音書は彼女が、イエスが十字架につけられるのを遠くから見守り(マルコ15,40-41等.)、イエスが埋葬されるのを見つめ(マルコ15,47)、そして墓の方を向いて座っていた婦人たちの中で一番重要な人物として語っています。その福音すでは以下のことを強調しています。可の初めの日の朝早くマグダラのマリアと他の婦人たちは買ったばかり

の香料を持ってイエスの体に油を塗るために墓に戻りました(マルコ16,1-7等)。そこで、一人の天使が彼女たちに、イエスは復活したのでこのことを他の弟子たちに伝えるよう依頼しました(マルコ16,1-7等)。

聖ヨハネは若干異なった形で同じ事 柄を語っています。マグダラのマリ アは、聖母マリアと一緒に十字架の そばにいました(ヨハネ19,25)。週 の初めの日、朝早くまだ暗いうちに マグダラのマリアは墓に行きまし た。そして、墓から石が取りのけて あるのを見ました。そこで、誰かが イエスの体を取り去ったと思い、ペ トロに告げに行きました(ヨハネ 20,1-2)。墓に戻り泣いていると、 イエスが立っているのが見え、イエ スは父である神のところに戻ること を弟子たちに告げるようマリアに言 いました(ヨハネ20,11-18)。これ は彼女にとって名誉なことでした。

そのため彼女は、東方教会においては「亜使徒」(使徒と同等の働きをした者)と呼ばれ、西方教会では「使徒たちへの使徒」と呼ばれています。東方には、彼女はエフェソに埋葬され、その遺体は9世紀にコンスタンティノープルへ運ばれたとの言い伝えがあります。

マグダラのマリアは、しばしば福音 書に登場する他の女性と同一視され ることがありました。6~7世紀頃か らラテン教会では、マグダラのマリ アをガリラヤのファリサイ派のシモ ンの家でイエスの足を涙で濡らし香 油を塗った罪深い女性とする傾向が ありました(ルカ7.36-50)。他方、 一部の教父や教会の著述家たちは、 この罪深い女性を、ベタニアでイエ スの頭に香油を塗ったラザロの姉妹 マリアであると考えました(ヨハネ 12.1-11)。マタイおよびマルコの並 行箇所ではマリアの名前は出てこ ず、一人の女性が重い皮膚病を患っ

たシモンの家でイエスに塗油を行っ たと語っています(マタイ26.6 等)。結果として、大聖グレゴリオ 教皇の見解も影響し、西方教会にお いては前述の三人の女性を同一視す る考えが広まりました。しかしなが ら、福音書では、ラザロの姉妹マリ アと思われるベタニアでイエスに塗 油を行ったマリア(ヨハネ12,2-3) を、マグダラのマリアと同一視でき る資料は示されていません。また、 ルカ7.36-49に登場する罪深い女性を マグダラのマリアと同一視できる資 料も見出せません。しかしながら、 ルカ福音書では、イエスがその女性 をゆるされた直後に、イエスに奉仕 する幾人かの女性について述べてお り、その中に七つの悪霊を追い出し ていただいたマグダラのマリアもい たと書かれています(ルカ8.2)。更 に、イエスはその罪深い女性を「こ の人が多くの罪が赦されたことは、 わたしに示した愛の大きさで分か る」(ルカ7.47)と、称賛され、こ

の言葉に呼応するように、マグダラ のマリアが復活したイエスに会った ときに示した大きな愛を福音書の記 述から読み取ることができます(ヨ ハネ20,14-18)。これらの記述か ら、罪深い女性とマグダラのマリア を同じ女性として考えるようになっ たのでしょう。いずれにしても、マ グダラのマリアが罪深い女性だった としても、その過去は不名誉なこと ではありません。ペトロはイエスに 不忠実でしたし、パウロはキリスト 教の迫害者でした。彼らの偉大さ は、罪を犯さないことにあるのでは なく、キリストへの愛にあったので す。

教会の教父や教会の著述家たちは、マグダラのマリアを、キリストの弟子として、また、福音の宣教者として傑出した女性として扱っています。福音書の中でマグダラのマリアの役割は傑出していたので、初代教会の一部のグループから特別な注目

を集めました。それは基本的に異端 的なグノーシス主義の影響を受けた 人々でした。彼らが残した文献は、 復活したイエスが残した秘密の啓示 を集めており、その教えはマグダラ のマリアを通して伝えられたという ものです。そこに記されている内容 は、歴史的な裏付けのない物語で す。10世紀頃に、マグダラのマリア を称揚する架空の物語が、特にフラ ンスで広まりました。歴史的には根 拠のない伝説ですが、それによると マグダラのマリアとラザロと数人の 信者は、キリスト教への迫害がはじ まったときエルサレムからマルセー ユに移りプロヴァンスで盲教をした ということです。この伝説によると マグダラのマリアは、エクサンプロ ヴァンスあるいはサント・マキシム で亡くなり、その遺体はヴェズレー に移されたということです。

pdf | から自動的に生成されるドキュメント https://opusdei.org/ja-jp/article/28-magudaranomariahadonoyounarendesuka/ (2025/11/19)